

KIDS SMILE LABO JOURNAL

“キッズ スマイル ラボ ジャーナル”

KIDS SMILE LABO が発行するフリーペーパー。普段 SNS でしか見られない保育園の子どもたちの様子や、子育てに関する情報等、最新情報をお届けします。

Vol.24

May
2023

TAKE FREE



KIDS SMILE LABO の 1 枚。

副園長の森誉さんが選んだ、とっておきの 1 枚を紹介します！

“ 汚れていても、汚れていなくても ”

手も服も砂や泥だらけになって遊ぶ。
子どもたちが見せてくれた手には遊んだ証がたくさん。
思いきり遊んだね！と思わずカメラを向けました。
しかし、汚れたことがいいことなのでしょうか。
同じ場で遊んでいても服も手もあまり汚れていない子もいます。
大人はついつい「汚れた＝思いきり遊んだ」と考えてしまいがちですが、大事なのは汚れたかどうかよりも、その子がやりたいことを目いっぱい楽しめたかどうか。
どろんこになって遊んでいたなら「うわーすごいね！」と一緒に笑いたいですし、
そうでない子がいれば、この子は今どうしたいのかな？を、一緒に考えようと思います。
選択肢は色々です。
泥や砂を手で触るのがイヤなら道具を使ってみたらどう？
泥水はあんまり好きじゃないけど綺麗な水なら遊べそう。
裸足の感覚がまだ少し苦手なら靴を履いて遊べば良い。

大切なのは、その子がやりたいことをして遊ぶこと。
それぞれが、それぞれに居心地のいい方法でしたいことをして楽しむこと。
私たちはそのことを一緒に喜びたい。

photo & text by morimori

JOURNAL TOPIC

01 子どもと自然、ときどき大人

髭の保育士もりもりの記事が JOURNAL にて初登場！

02 食べすぎ注意！補食にぴったりお稲荷さん。

今回はレシピを掲載しています。ぜひご家庭で作ってみてくださいね！

03 KIDS SMILE LABO CLASS NEWS

過ごしやすい気温だった 5 月。各クラスのピックアップしたい内容になっています。

kidssmilelabo.com



@kidssmilelabo

KIDS SMILE LABO

@kidssmilelabo

@KIDS_SMILE_LABO

子どもからは「もりもり」
の名で親しまれている。趣
味のカメラから映し出され
る世界やもりもりの紡ぐ言
葉にファンも多い。

no+e チェック➡



体験して過ごせたことは私という人間の
財産になっているなど感じます。

ところで、そもそも「原体験」とは具体
的にどのようなものを指すのか。

「私たちは、積極的に森や川といった厚木
にある豊かな自然へと出かけていきます。
晴れの日、雨の日、風が吹く日でも、自
然の音に耳を傾け四季を感じます。五感
をフルに働かせてくれる自然環境は、
子どもたちにとって素晴らしい教材だっ
たのだと子どもの姿に気づかれます。
自然と共生する場合は、時に怪我や失敗も
経験しながら、子どもの志向性や価値観
を豊かに育んでくれます。」

これは園のホームページに載せている私
たちの想いです。

ここからも分かるように、私たちの園は
積極的に戸外へと出ていき自然と関わる
時間を大切にしています。そして、それ
が乳幼児期の子どもたちにとって必要な
時間だと考えています。



子どもたちが日々の園生活の中で見せ
る表情・姿の一つ一つを見ていると、改
めてその想いを感じると共に、自分自身
が子どもだった頃に体験した「原体験」
のことを思い出します。

木に登り上へ上へとどんどん高いところ
を目指したこと。

原っぱで出会う生き物の世界やその不思議。
議。

パンツ一枚でどんこを楽しんだ保育園
時代。白いパンツがチョコレート色に染
まるくらい遊びきったあの楽しかった気
持ちや遊びきった気持ちは今でも覚えて
います。

乳幼児期だからこそできたこと、それを

KIDS SMILE LABOの子どもたちの
日常を思い浮かべながらこの言葉を追っ
ていくと、写真で見ているお子さんの姿
がいくつかパツパツとイメージできたの
ではないでしょうか。



子どもたちは今まさに原体験を日々重ね
ている真っ最中。

その日々の中で子どもたちは様々なこと
を感じています。

どうして風が吹くのだろう。
どうして夏は暑い？冬は寒い？
どうして鳥は飛べるだろう。――

身近な存在は興味となって、子どもたち
に「なぜ・どうして」の気持ちを芽生え
させます。

何に興味を示すのかは子どもの数だけ違
いますし、何を感じ学ぶかにもそれぞれ
の個性があります。

その過程が子どもたちの心の土壌を耕し
根を張り、様々な感性の芽を宿します。

同じ「土」でも土の感触に興味を持つ子
もいれば、形を変え遊びに用いることが
できることに興味を持つ子もいます。

固くゴロッと大きな塊の土もあれば、ト
ロツと溶けるように柔らかい土もある。

それは何故だろうと考える。試したり調
べたりしてみる。物事に興味を持った時
子どもは探究する名人になります。



そんな、探求する名人に強力なサポーター
「大人」が寄り添ったらどうなるでしょう
か。

もうそれはそれは、興味の芽はさらにぐ
んぐんと芽を伸ばし、自ら色々なことを
試してその世界を味わおうとするはずで
す。

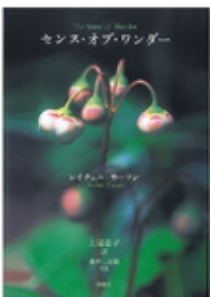
何に興味を示しているのか注意深く観察
して子どもの興味が広がり、深まるよう
にサポートをしてあげる。決して答えを
先に示してしまうのではなく、大人は有
識者ではなく、あくまでサポーターです。

「あなたはどう思う？」「この本に載って
いるかも一緒に調べてみようか」そんな
風にそっと寄り添ってあげてください。

目の前の興味や不思議と向き合う子ども
たちをぜひ見てあげてください。

様々なことを経験してきた我々大人が、
いつしか手放してしまった感動や驚きと
いった感性を取り戻させてくれるはずで
す。

かつて子どもだった頃の「なぜだろう」
や「ワクワク」とした気持ちが蘇ってき
ている自分に気付くのではないでしょ
うか。



The Sence of Wonder
センス・オブ・ワンダー
著 レイチェル・カーソン
訳 上遠恵子

最後に一冊の本を紹介して終わりにした
と思います。
私たち保育の世界では認知度の高い「セ
ンス・オブ・ワンダー」レイチェル・カー
ソン著」という本があります。
自然を感じる大切さを子どもだけでなく
大人に対しても伝えてくれる一冊となっ
ております。
読み終えた後はお子さんと自然の中へ出
かけて行きたくなるかもしれません。
ページ数も多くなく読みやすいですから、
ぜひ一読ください。
読んでみたいという方は私にお声掛け
ください。



ここまで読んでいて、「寄り添うとか難し
そう」「自然の知識もないしな」と思っ
ている方もいるかもしれません。
自然に出て行くからといって、決して大
人が何か知識を持っていないなくてはなら
ない！なんていうことはないと思います。
もつと単純で、おもしろいものを見つけ
るたびに、喜びや驚きの声をあげてその
発見を子どもと分かち合う。それでいい
し、それがいいと私は思います。
まずは感じることに、その先に知ることが
やってきて一緒に知っていけばいいん
です。
何かを教えるためではなく、一緒に楽し
むために自然界への探検（近所の公園だ
って大丈夫）をぜひしてみてくださいね。

KIDS SMILE LABO KITCHEN

Vol.13

食べ過ぎ注意！補食にぴったりお稲荷さん。

KIDS SMILE LABO KITCHEN

保育園KIDS SMILE LABOで毎日子どもたちに提供してい
る給食は厚木で育った旬の野菜、無添加調味料を使用して安
全安全に、そして見て美しい食べて美味しい給食を
2343FOODLABO監修のもと、調理をしています。



実は、お稲荷さんはご飯やお砂糖の糖質、油揚げの脂質やたんぱく質、カルシウムや鉄などを一気に摂れて、子どもの補食にぴったりです。暑さで食欲が低下する夏にも酢飯でさっぱりと、疲労回復効果もあります。LABO でも何度か提供するうちにお稲荷さんの味や見た目に慣れてきて、よく食べていますので、是非ご家庭でもお子様と一緒に作っててください。ただし、美味しくてパクパクと食べられてしまう分、お砂糖をたくさん使うお稲荷さんはカロリーが高いため、食べすぎには気をつけてくださいね。 文やっちゃん

材料 お稲荷さん（12個）分量

油揚げ 6枚	酢飯
A 甜菜糖 30g	ご飯 500g
A しょうゆ 30ml	酢 75g
A みりん 30ml	甜菜糖 40g
A 水 250ml	塩 5g
	白胡麻 お好みで

作り方

- ① 菜箸を油揚げの上で1、2回転がして油揚げを伸ばす。
- ② 油揚げを半分にカットして油抜き（湯通し）し、水気を絞る。
- ③ A を鍋に入れて煮立たせたら、油揚げも入れて再度煮る。
- ④ 油揚げにほんのり色がついたら火を止める。（少し時間をおくと、更に味が染み込み、色も綺麗に仕上がります）
- ⑤ ご飯に酢飯の調味料を全て入れて酢飯を作る。
- ⑥ 汁を軽く絞った油揚げの袋を開き、中に酢飯 2/3 程度を入れ、最後は口の部分を折り、皿に載せる。



KIDS SMILE LABO CLASS NEWS

だいち⁵ おおぞら⁴ みなも³
Daichi Oozora Minamo



美味しい！のその先に

桃シロップ作り

井上とお桃園さんにて若桃をいただきました。綺麗かどうか丁寧に選んで袋に入れる、夢中になって若桃を拾う姿がありました。

早速、次の日にシロップ作りを行いました。下処理では塩揉みをして産毛をとる、そこから10回水で洗うという大変な作業。根気よく集中して最後までやり切る子どもたちに、毎年行っているこの活動がしっかり根付いているのを感じました。

パン作り

初めて触れるパンの生地は「ふわふわ」でもあり「べたべた」もしている不思議な感触。「ぎゅってしないんだよ」と生地を潰さないように優しく形を整える子どもたち。焼きたてパンならではの香りも味も温かさも、思う存分に味わった子どもたちはまた「美味しい！」の世界を広げたのでした。

小松菜ジュース

みんなで育てていた小松菜はジュースに。りんご、凍らせたバナナと混ぜると飲みやすく、「まだのみたい！」と3回おかわりした子もいました。簡単にできますので、ご家庭でもぜひ試してみてくださいね！

自分たちで作って食べる楽しさを感じ、自分たちで育てたものを食べる。このような経験を積み重ねていくことで、食べ物を大切にする気持ちに繋がっていくと感じたのでした。 文れいじくん

のばな²
Nobana



めきめきぐんぐん成長中！

散歩出発前「靴履けないよ」「靴下引っ張って」と涙していた4月。散歩から園に戻り、毎日の着替えの時間でも時には着替えるのがイヤで食事に着くまでに時間がかかることもありました。しかし、最近は散歩前の集まりが終わると自分で帽子を取りに行き、靴下と靴を履く習慣ができてきたり、苦戦していた着脱も自らズボンを脱いでみたりと毎日頑張ってきた事が習慣になってきました。

あんなにも涙していたのになった2ヶ月で習慣になるものと、子どもたちの成長スピードに改めて驚かされます。

そんなのばなさんは今、バギー無しでの散歩に向け、手繋ぎでの散歩を頑張っています。

友だち同士で手を繋いでいくことは容易ではありません。「〇〇くん繋ぎたかったのに！」「だめ！」とそれぞれの思いがぶつかり涙したりと、出発までに時間がかかることもしばしば。しかしながら、一歩ビルの外へと出ると、「あーバスがいたよ！」「郵便車もいたねー」と先程とは打って変わり、仲良く手を繋ぐ姿があります。

嬉しいことに、先日の散歩では出席していた全員が散歩先からLABOまで歩くことができました！毎日少しずつ「出来た！」という経験を重ねて、みんなで成長していけたらいいなと思っています。

文みーちゃん

そよかぜ¹
Soyokaze



無限大に広がる遊び

雨が降ったあとにできる水道広場の水たまり。広場に着くと、子どもたちは水たまりに吸い込まれるように入っていきます。そして、砂場玩具がなくても、泥と水があれば無限大の遊びが広がっていきます。水たまりの上をあちらこちらへと走り回る。泥だんごをつくって保育者に投げてみて、水しぶきが跳ねるのが面白くて笑う子。「〇〇ちゃんも！〇〇ちゃんも！」と自分もやりたいと伝えてきました。泥団子を持つなり、「えいっ！」の掛け声で投げる姿。投げた先に何があるのか分からないけど、落ちた泥団子をみて「ざんねん。ぶっばー」と。それが楽しく、何度でも繰り返していました。食べる真似をしたり、思わず口にしてみたり、リズムの「こうま」の歌と共にハイハイをしたり、寝転んだり。からだ全体で泥の感触を感じたり、日によって違う水温の冷たさやあたたかさを感じました。大人がしていることをまずは真似てみる。そして自分もやってみる。大人が思いきり遊ぶことで子どもも自然と楽しむ姿が印象的でした。

文さっくん

こもれび⁰
Komorebi



ハイハイで移動中！

こもれびクラスのおともだちは、今ハイハイで移動中！

お部屋を広くしてたくさんハイハイでできるようにしています。

マットでお山を作ってみると、はじめは遠くで見ていた子も、少しずつ近づいてきました。おもちゃで誘うと、よいしょよいしょと一生懸命登ります。

が、途中で…。どうしたら登れるようになるかな？と考えて、リズム遊びを取り入れてみることにしました。身体を上手に動かしていきけるように、足指を刺激したり、ほぐしたりしていき

ました。はじめは、イヤイヤしていた子も、リズム遊びをリラックスしてできるようになりました。それが功を奏したのか！？今ではマット山もぐいぐい登れるようになりました！

ハイハイが上手になった子どもたちは今、遊びがどんどん広がっています。楽しいことを見つけてこれからいっぱい遊んでいきたいです。

文ふくちゃん

2023 親子 交流会

KIDS SMILE LABO では年2回、「親と子・同じクラスの仲間たち」と交流を持つ機会を作っています。

開園当初はコロナ禍だったため、この貴重な1回が中止になってしまうこともありましたが、今年はマスクを外して参加される方も多かったのがとても印象的でした。

開催する内容は「どんなことをしたら楽しいかな...」「いつも行っている遊びを保護者の方にもお伝えしたい！そして、お家での遊びにも取り入れてほしい！」「クラスの仲がもっと深まってほしい！」などクラスの子どもの様子を踏まえて、その年ごとに各担任が考えています。待ちに待った当日は、どのクラスにも賑やかな声と和やかな空気が包み込み、とても温かい時間が流れていました。

一方で普段とは少し違う雰囲気にとドキドキしていた姿もチラホラ...しかし、そんな姿の裏には「去年は緊張して参加できなかったけれど今年は泣かなかったね！」という嬉しい成長が見られるのです。

各クラス短い開催時間の中にもたくさんのドラマがあり、JOURNAL には書ききれないほどですが、それぞれ色の違ったクラスの様子をお楽しみいただけたらと思います。

文 かおちゃん

0さい こもれび



2家族と担任2人でゆったりと交流会を行いました。

自己紹介では、おうちでの面白エピソードなどをお話して頂き、新たな一面を知ることができました。そして、ラボで日々行っているリズム遊びを紹介。どうしてリズム遊びを取り入れているのかをお伝えしながら、親子で歌に合わせて行いました。ぜひおうちでもやってみてくださいね。

煮野菜の試食は「野菜だけなのに、こんなに美味しいんですね」と感想を頂けたりと大好評でした！手づかみ食で一生懸命頑張る子どもたちの様子も動画でご覧頂きました。お家での量と比べてこんなにたくさん食べるなんてすごい！と驚かれていました。

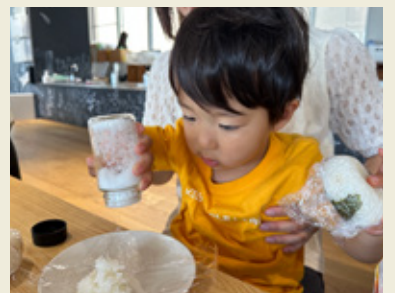
これからも、日々のお子様の成長と一緒に喜び合っていきたいと思っています。

文 ふくちゃん

1さい そよかせ



2さい のぼな



普段と違う保育室の環境になっていたのも、子どもたちの恥ずかしがる姿や甘える姿が印象的でした。そういった変化に気付くことも一つの成長の様子ですね。一緒に歌をうたったり、リズムでは自然と音に反応する子どもをみて、「すごいね！」「転がれるんだ！」の声。顔を見合わせたり、抱っこをしたりなど、親子でスキンシップをとって遊ぶ姿に心が温くなりました。「とんぼのめがね」では、もう一回したい子が指を出す姿にその空間が笑顔になりましたね。ファミリーアートでは、キャンパスに子どもの好きな乗り物の色や子どもの性格をイメージした色、子どもの好きな色など愛情いっぱいのカラー。ツツツと指で触ってみたり、背中にこすりつけてみたりとアートの仕方も7人7色。素敵なファミリーアートとなりました。

文 さっどん

のぼなさんはおにぎり作りとお絵描き対決をしました。

おにぎり作りでは、数種類の具の中から好きな具を選び、大きさも形も様々なおにぎりを握る姿がありました。力強く握ってみたり、コーンを沢山入れてみたり、具だけ食べてみたりとそれぞれが自由におにぎり作りの時間を楽しみました。

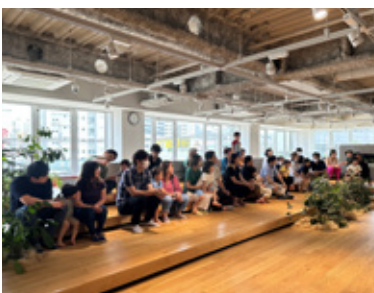
お家の方や友だちと一緒に作ったおにぎりは格別に美味しかったことでしょう。お腹が満たされた後は、お父さんお母さんが描いた絵を子どもたちが当てるお絵描き対決！

お題がブラキオザウルスという難しい局面では、お子さんが答えてくれるファインプレーがあった一方で、ペンで複数の点を描き子どもたちに見せる画伯。「お星様？」「砂？」となかなか当ててもらえず、床に置いて「地面を歩くよ」とまさかのヒントも飛び出しましたが、子どもたちの素晴らしい想像力に助けられ、両チーム8問正解で仲良く引き分け試合でした。

秋の交流会はどんな会にしようかと、今から楽しみです！

文 みーちゃん

3さい 4さい 5さい みなも あみぞら だいち



【自己紹介ゲーム】

14家庭がたくさん交流してほしい想いがあり、前半は親子電車に乗って、自己紹介をしながら進んでもらいました。子どもたちのミッションは電車を運転しながら全員の写真を集めること。そして保護者のミッションは出されるテーマをもとに出会ったご家庭と1分間ひたすらおしゃべりすること！会場中が賑やかな声と笑顔で溢れ、徐々にお題関係なく会話が弾む様子が見られていました。

【コラージュ】

後半はゲームで集まった写真を画用紙にコラージュしていきました。持ち寄り素材は予想以上にバラエティー豊かに！シェア素材を楽しそうに選ぶ子どもたちの姿もありました。14名の写真はご家庭ごとに全く異なる世界観に並べられ、アートの面白さを感じる時間にもなりました。作品をもとに、ご家庭で友だちの話が盛り上がるといいなと思っています。

文 ちなちゃん